

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 わにおじいさんのたからもの 103~117

おにの子が見つけた
たからものは、何だっ
たんだろ?...



- わにおじいさんと出合った、おにの子の物語です。
- 1 冬の始まりに、川岸で動かないわにに出会ったおにの子。
- 2 「しんだんだー」と思った。
- 3 わにの体をはっぱでおおいつてると、わにが目を覚ました。
- 「ああ、ここ気持ちだ。」
- 「たからものを知らないおにの子」、わにはたからもの地図を示す。
- 「たからものってどうひつものか、きみの目でたしかめるところ。」

4年 一つの花 109~123

「スモスに囲まれて幸せそう。」

- 3 父のいない、十年後の母じゅみ子。
- 2 西親のゆみ子に対する思い。
- 1 一輪のコスモスの花を渡して、お父さんは戦争に行つちゃったんだね。

- 食べ物も満足に口にできない、戦時中の物語です。
- 1 幼いわが子(ゆみ子)に対する両親の気持ちを読み取ります。
- 2 「一つだけ……」とふた頃葉を最初に覚えたゆみ子。
- 3 「一つだけよ」は、お母さんの口癖だったんだカメ!

6年 あなたは作家 102~107

始まり→展開→やま場→終わ
りの順に組み立てるんじや。登場人物がどう変わっていく
か、楽しみじゃな。



- 写真を見て、物語を作ります。
- 1 物語の設定を考える。
 - ① 登場人物を選び、名前・年齢などを設定する。
 - ② 何がきっかけで、どうなる話か、物語の大体を考える。
 - ③ 物語の時や場所を考えてる。
- 2 物語を組み立てる。
- 3 書き出しや表現を工夫して、物語を書く。
- 4 友達と読み合って、感想を伝え合う。

1年 けんかした山 98~104

- いつも背比べをしては、自分のほうが高いと、けんかばかりしている一つの山がある日とうとう一気に火を噴き出して、周りが火の海に包まれてしまつところです。
- 次のときの、一つの山や、お日様、お月様、小鳥たちの様子を読み取ります。
- 一つの山が背比べをしては、けんかばかりしているとき。
- お日様とお月様が注意をしたとき。
- 二つの山が火を噴き出したとき。
- 雲がどんどん雨を降らせたとき。
- 何年かたち、山がすっかり縁におおわれたとき。

3年 取材したことをほうこく文に 102~106

- 報告文を書くときの手順と、文章の工夫を学習します。
- 1 「取材メモ」を作り、調べる。
- 2 書く内容を選ぶ。
- 3 取材して分かったことと、自分で考えたことを区別して書くことの大事。



5年 大造じいさんとがん 89~109

- 大造じいさんと、残雪といつ羽のがんの、戦いと交流の物語です。
- 場面の様子を考えながら、人物の心情の変化に注意して読みます。
- 1 いつも残雪にやられて、一羽のがんも手に入らない大造じいさん。
- 2 うなぎ針をしかける。
- 3 小屋の中にかくれる。
- 4 おとりを使う。
- 5 おとりを助けようとする残雪に感動する大造じいさん。
- 6 残雪を放してやり、堂々と戦おうと呼びかける。